

様式編

様式編 目次

様式第 1	災害・気象情報	384
様式第 2	その 1 災害概況即報	384
様式第 2	その 2 災害発生直後の状況	385
様式第 3	その 1 災害発生状況等（速報・確定報告）	385
様式第 3	その 2 人的被害	386
様式第 3	その 3 避難状況・救護所開設状況	386
様式第 3	その 4 公共施設被害	387
様式第 3	その 5 被害状況報告区別一覧	388
様式第 4	衛生施設関係被害状況報告書	389
様式第 5	商工業及び観光施設関係被害状況報告書	389
様式第 6	農林施設関係被害状況報告書	390
様式第 7	農畜産物関係被害状況報告書	390
様式第 8	農地施設関係被害状況報告書	391
様式第 9	土木施設関係被害状況報告書	391
様式第 10	文教施設関係被害状況報告書	392
様式第 11	市有財産関係被害状況報告書	393
様式第 12	罹災証明（願）書	394
様式第 13	罹災届出証明（願）書	395
様式第 14	世帯構成員別被害状況	396
様式第 15	避難場所収容台帳	397
様式第 16	避難場所用物品受払簿	397
様式第 17	避難場所設置及び収容状況	398
様式第 18	炊出し給与簿	398
様式第 19	炊出しその他による食品給与物品受払簿	399
様式第 20	炊出し用物品借用簿	399
様式第 21	水道施設被害速報	400
様式第 22	飲料水供給簿	400
様式第 23	給水用機械器具、燃料及び浄水用薬品資材受払簿	401
様式第 24	給水用機械器具修繕簿	401
様式第 25	病院診療所医療実施状況	402
様式第 26	助産台帳	402

様式第 27	救護班診療記録	403
様式第 28	救護班医薬品衛生材料使用簿	403
様式第 29	医薬品衛生材料受払簿	404
様式第 30	救護班の編成及び活動記録	404
様式第 31	応急仮設住宅入居申請書	405
様式第 32	決定通知書	405
様式第 33	市応急仮設住宅入居契約書	406
様式第 34	被災者救出状況記録簿	407
様式第 35	被災者救出用機械器具燃料受払簿	407
様式第 36	被災者救出用機械器具修繕簿	408
様式第 37	死体捜索状況記録簿	408
様式第 38	死体捜索用機械、器具、燃料受払簿	409
様式第 39	死体処理台帳	409
様式第 40	埋葬台帳	410
様式第 41	障害物除去の状況	410
様式第 42	臨時雇用人夫勤務状況	411
様式第 43	奉仕団等受入れ記録簿	411
様式第 44	輸送記録簿	412
様式第 45	燃料及び消耗品受払簿	412
様式第 46	学用品購入（配分）計画表	413
様式第 47	学用品の給与状況	413
様式第 48	部隊等の派遣要請依頼書	414
様式第 49	災害派遣部隊撤収要請依頼書	414
様式第 50	その 1 避難・地震防災応急対策の実施状況報告 速報用	415
様式第 50	その 2 避難・地震防災応急対策の実施状況報告	416
様式第 51	緊急通行車両等確認申請書	417
様式第 52	緊急輸送車両確認証明書	417
様式第 53	緊急通行車両の標章	417
様式第 54	ボランティア等受入れ記録簿	418
様式第 55	一時避難者名簿	418

災害・気象情報

供覧	本部長			
要指	副本部長			
示	指示事項			
第	部	被害気象時刻現在	発(受)信時刻	発信者
	連絡済	月 日 時 分	月 日 時 分	受信者
報告内容				

[災害概況即報]

報告日時	年 月 日 時 分
都道府県	
市町村 (消防本部名)	
報告者名	

消防庁受信者氏名

災害名 (第 報)

発生場所	発生日時	月	日	時	分
災害の概況					
被害の状況	死者	負傷者	不明	住家	全壊
	人	人	人	半壊	一部破損
	計	人	人	床下浸水	棟
被害の状況					
災害対策本部等の設置状況 (都道府県) (市町村)					
応急対策の状況					

(注) 第一報については、原則として、事知後 30 分以内で可能な限り早く、分かる範囲で記載して報告すること。(漏れがとれない事項については、確認がとれない旨(「未確認等」)を記入して報告すれば足りること。)

様式第2 その2

災害発生直後の状況

原因		発生日時		市・郡 区・町・村	
発生場所	時刻	月	日	時	分
受信機	受信機	受信者			
受信機	受信機	受信者			
被災区分		被災区分		被害程度及び応急対策状況(経過)	
人的被害	死者	鉄道不通	か所	被災	
被害者	行方不明者	水道	か所		
	負傷者	電柱	か所		
被害者	軽傷者	電線	か所		
		ガス	か所		
全	棟	災害対策本部	設置		
	世帯	設置状況	廃止		
住	棟	避難の勧告	地区		
	世帯	指示等の状況	人		
家	棟	避難場所	所		
	世帯	避難人数	人		
被害	床上浸水	要	請	事	項
	床下浸水	要	請	事	項
その他	損冠	か所			
	橋りょう	か所			
河	破	か所			
	縫	か所			
川	の	か所			
	砂	か所			
陸	窪	か所			
	地	か所			
土	石	か所			
	流	か所			

様式第3 その1

災害発生状況等(速報・確定報告)

原因		発生日時		市・郡 区・町・村	
発生場所	時刻	月	日	時	分
受信機	受信機	受信者			
受信機	受信機	受信者			
被災区分		被災区分		被害程度及び応急対策状況(経過)	
人的被害	死者	補りょう	か所	被災	
被害者	行方不明者	焼	か所		
	負傷者	水	か所		
被害者	軽傷者	河川	か所		
		その他	か所		
全	棟	港湾・池	か所		
	世帯	砂	か所		
住	棟	設置状況	廃止		
	世帯	避難の勧告	地区		
家	棟	指示等の状況	人		
	世帯	避難場所	所		
被害	床上浸水	要	請	事	項
	床下浸水	要	請	事	項
その他	損冠	か所			
	橋りょう	か所			
河	破	か所			
	縫	か所			
川	の	か所			
	砂	か所			
陸	窪	か所			
	地	か所			
土	石	か所			
	流	か所			

(注) 速報の場合は5から6までの項目については報告する必要はない。

人的被害 (第 報)

報告の時点	日	時	分	時刻	時	分
発信機関	受信時刻					
発信者名	受信者名					
内 容						
発	日	時	日	時	時	分
生	場 所					
	原 因					
人	被 害 程 度 1.死亡 2.行方不明 3.重傷 4.軽傷					
的	氏 名 等 別 (氏名) (生年月日) (性)					
被	住 所					
害	収 容 先					
の	その他参考事項 (応急処置、情報源、確認・未確認の別、世帯主及び統柄等)					
状						
況						

避難状況・救護所開設状況 (第 報)

報告の時点	日	時	分	現在	時刻	時	分
発信機関	受信時刻						
発信者名	受信者名						
内 容							
避	地 区 名	避難の勧告、指示の種別及び日時 (勧告、指示、自主) 日 時 分	世帯数	人数	屋内 屋外の別	今後の見通し	
難					屋内 屋外		
状					屋内 屋外		
況					屋内 屋外		
					屋内 屋外		
					屋内 屋外		
					屋内 屋外		
救	救 護 所 名	設 置 場 所	収 容 人 数	実 施 機 関	重 傷	傷 亡	閉 鎖
護							
所							
開							
設							
状							
況							

公共施設被害書 (第 報)

報告の時点	日	時	分	時刻	時	分
発信機関	受信機関					
発信者名	受信者名					
内 容						
被害区分	ア.河川 イ.海岸 ウ.貯水池・ため池等 エ.砂防 オ.港湾・漁港 カ.道路 キ.鉄道 ク.電信・電話 ケ.電力 コ.ガス サ.水道 シ.その他()					
発 生	日 時	日	時	分		
	場 所					
原 因						
状 況	被害区 区 間					
	管 理 者	(電話)				
被害程度 (概要)						
応急対策 の 状 況						
復旧見込						
その他 参 考 事 項						

被害状況報告区別一覧

区		災害発生日時		災害救助法適用の有無		内訳		区		分	
人的被害	死者	方	不明者	①	人						
		負傷者	軽傷者	②	人						
住家被害	全壊			③	人						
				④	人						
	半壊			⑤	棟						
				⑥	世帯						
	一部破損			⑦	棟						
				⑧	世帯						
	床上浸水				⑨	棟					
					⑩	世帯					
					⑪	棟					
					⑫	世帯					
床下浸水				⑬	棟						
				⑭	世帯						
非住家	公共建物			⑮	棟						
	その他			⑯	棟						
その他	田	流失・埋没		⑰	ha						
		冠水		⑱	ha						
	畑	流失・埋没		⑲	ha						
		冠水		⑳	ha						
	文教	施設		㉑	か所						
		病院		㉒	か所						
	道路	損壊		㉓	か所						
		冠水		㉔	か所						
	橋	(通行不能)		㉕	か所						
		りょう		㉖	か所						
	河川	決壊		㉗	か所						
		溢水		㉘	か所						
	港	湾・漁港		㉙	か所						
		砂防		㉚	か所						
	崖	くずれ		㉛	か所						
		すべり		㉜	か所						
	土	石		㉝	か所						
		水道		㉞	か所						
	清	掃施設		㉟	か所						
		鉄道		㊱	か所						
被	害		㊲	隻							
	船		㊳	隻							
電	害		㊴	回線							
	話		㊵	回線							
ガ	ス		㊶	戸							
	ス		㊷	戸							
ブ	ロック		㊸	か所							
	塀		㊹	か所							
次	災		㊺	件							
	発生		㊻	件							
り	災		㊼	世帯							
	世帯		㊽	世帯							
公	立		㊾	人							
	文		㊿	人							
農	林		①	千円							
	水産		②	千円							
公	共		③	千円							
	土		④	千円							
小	計		⑤	千円							
	計		⑥	千円							
農	産		⑦	千円							
	産		⑧	千円							
畜	産		⑨	千円							
	産		⑩	千円							
水	産		⑪	千円							
	産		⑫	千円							
商	工		⑬	千円							
	工		⑭	千円							
被	害		⑮	千円							
	害		⑯	千円							
災	害		⑰	設置							
	害		⑱	設置							
避	難		㉑	地区							
	難		㉒	地区							
消	防		㉓	人							
	防		㉔	人							

衛生施設関係被害状況報告書

発生(発生)中間(確定) No.

災害の発生		災害発生の日時		年月日時	
報告の場所	時限	日	時刻	日	時分
発信機関	者	受信機関者			
発信機関	者	受信機関者			
区分	符号	①施設数	②棟数	③被害金額 円	④被害金額 円
医療関係施設	公	ア			
	病	イ			
	院	ウ			
	診療	エ			
	所	オ			
	公	カ			
	共	キ			
	同	ク			
	業	ケ			
	局	コ			
小計	サ				
関係施設	シ				
水					
道					
上					
水					
道					
簡					
易					
水					
道					
施					
設					
小計					
合計					
応急対策その他					

商工業及び観光施設関係被害状況報告書

発生(発生)中間(確定) No.

災害の種別		災害発生の日時		年月日時	
報告の場所	時限	日	時刻	日	時分
発信機関	者	受信機関者			
発信機関	者	受信機関者			
区分	符号	被害件数	被害金額 円	被害金額 円	被害金額 円
工業	織				
	機				
	械				
	金				
	属				
	工				
	器				
	陶				
	磁				
	の				
他					
小計					
業					
商					
観					
光					
施					
設					
小計					
合計					
応急対策その他					

農林施設関係被害状況報告書

発生中間 No. () 確定

災害の種別		災害発生の日時		年月日時	
災害発生場所		時現在		年月日時	
報告の時刻	発受信時刻	日	時	分	秒
発信者	受信者				
区分	符号	被害件数		被害金額	
		または面積	または面積	または面積	または面積
畜産関係	ア	件	千		
蚕糸関係	イ	"			
園芸関係	ウ	"			
入植関係	エ	"			
その他	オ	"			
小計	カ	"			
畜産関係	キ	"			
蚕糸関係	ク	"			
園芸関係	ケ	"			
入植関係	コ	"			
その他	カ	"			
小計	シ	"			
合計					
緊急対策 (被害地区)					

(注) 1. 果樹・桑園・茶樹の樹体・被害額には、開拓関係を()書きにし、内数とする。
 2. 園芸関係には工芸作物に関する施設を含む。

農畜産物関係被害状況報告書

発生中間 No. () 確定

災害の種別		災害発生の日時		年月日時	
災害発生場所		時現在		年月日時	
報告の時刻	発受信時刻	日	時	分	秒
発信者	受信者				
区分	符号	被害件数		被害金額	
		または面積	または面積	または面積	または面積
水陸	ア	ha	千		
稲類	イ	"			
野菜	ウ	"			
果樹	エ	"			
工芸作物	オ	"			
茶	カ	"			
桑	キ	"			
飼料作物	ク	"			
合計					
緊急対策 その他					

(注) 1. 貯蔵品、加工品等の欄で愛知北農業協同組合岩倉市事業本部及び連合会の所有するものについては()書きし、内数とする。
 2. 農畜産物等で開拓地被害があるときは()書きとし、内数とする。

農地施設関係被害状況報告書

発生
中間
確定

No.

災害の種別	災害発生場所		災害発生の日時		年月日時分		
	報告の時刻	報告の時刻	日	時			
発信者	発信機	時刻	受信機	受信機	関者		
						①	②
区分	符号	単位	①	②	③	④	⑤
農地	田	ha					
	畑	ha					
農業	計						
	水路						
施設	道路						
	橋梁						
用設	ため池						
	非農						
計	その他						
	合計						
緊急対策その他							

主要観測所降雨量									
観測所名	観測場所	月日			月日			計	
		日	月	年	日	月	年	時間雨量	連続雨量

土木施設関係被害状況報告書

発生
中間
確定

No.

災害の種別	災害発生場所		災害発生の日時		年月日時分			
	報告の時刻	報告の時刻	日	時				
発信者	発信機	時刻	受信機	受信機	関者			
						①	②	③
区分	符号	単位	①	②	③	④	⑤	⑥
道路	路							
	橋							
河川	川							
	湾							
海岸	岸							
	防							
漁港	港							
	設							
合計								
緊急対策その他								

文教施設関係被害状況報告書

〔発生
中間
確定〕 No.
()

災害の種類別		災害発生の日時		年月日時					
災害発生場所		日 時現在		日 時 分					
報告の期限		発 信 機 関		受 信 機 関					
発 信 者		受 信 者							
区 分		符号	単位	①	②	③	④	⑤	
児童・生徒・職員・人的被害	死者	生徒	徒	ア	人				
		職員	員	イ	"				
	負傷者	生徒	徒	ウ	"				
		職員	員	エ	"				
	行方不明	生徒	徒	オ	"				
		職員	員	カ	"				
計	生徒	徒	キ	"					
	職員	員	ク	"					
建 物 被 害	全壊	坪数	数	ケ	坪				
		金額	額	コ	千円				
	半壊	坪数	数	サ	坪				
		金額	額	シ	千円				
	流失	坪数	数	ス	坪				
		金額	額	セ	千円				
	大破	坪数	数	ソ	坪				
		金額	額	タ	千円				
	小破 (大破未満)	坪数	数	チ	坪				
		金額	額	ツ	千円				
	浸 水	床上	坪数	数	テ	坪			
			金額	額	ト	千円			
		床下	坪数	数	ナ	坪			
			金額	額	ニ	千円			
その他	坪数	数	ヌ						
	金額	額	ネ						
計	坪数	数	ノ						
	金額	額	ハ						
その他被害	工 作 物			ヒ					
	土 地			フ					
	設 備			ヘ					
	計			ホ					
合計	坪数	数		マ					
	金額	額		ミ					
応急措置(休校・措置・その他)									

- (注) 1. 被害種別のうち物的被害については、公立学校設備費国庫負担金等に関する関係法令等の運用細目(昭35.11.1)の定めるところによる。
2. ①②③…の欄には、小・中・高等学校、幼稚園、公民館、文化財、体育施設について被害を受けた小学校1校、1施設等のように報告するものとする。
3. 公民館、図書館、文化財、体育施設については、人的被害を除く被害を報告するものとする。

市有財産関係被害状況報告書

〔発生
中間
確定〕No.
()

災害の種別				災害発生の日時		年 月 日 時						
災害発生場所												
報告の時限		日 時現在		発受信時刻		日 時 分						
発信機関				受信機関								
発信者				受信者								
区 分		符号	単位	①数量	②被害額	区 分		符号	単位	①数量	②被害額	
庁 舎	全壊（焼）	ア	棟			そ の 他 建 物	全壊（焼）	ソ	棟			
	流失	イ	〃				流失	タ				
	半壊（焼）	ウ	〃				半壊（焼）	チ				
	浸水	床上	エ	〃				浸水	床上	ツ		
		床下	オ	〃					床下	テ		
	一部破損	カ	〃				一部破損	ト				
	小計	キ	〃				小計	ナ				
公 舎	全壊（焼）	ク	戸			敷地	流失	ニ	㎡			
	流失	ケ	〃				その他	ヌ	〃			
	半壊（焼）	コ	〃			そ の 他	施設	ネ	か所			
	浸水	床上	サ	〃				物品	ノ	個		
		床下	シ	〃				その他	ハ			
	一部破損	ス	〃			合 計						
小計	セ											
応急措置その他												
		(被害施設数)										

様式第 12

罹災証明（願）書

年 月 日

岩倉市長 様

(申請者)

住所

氏名

印

電話番号

下記のとおり罹災したことを証明願います。

記

罹災原因	<input type="checkbox"/> 暴風 <input type="checkbox"/> 竜巻 <input type="checkbox"/> 豪雨 <input type="checkbox"/> 豪雪 <input type="checkbox"/> 洪水 <input type="checkbox"/> 地震 <input type="checkbox"/> その他 ()
罹災年月日	年 月 日
罹災場所	岩倉市 町 番地 (マンション等の名称)
罹災物件	<input type="checkbox"/> 住家等 <input type="checkbox"/> 動産 <input type="checkbox"/> その他 ()
罹災の程度	<input type="checkbox"/> 全壊 <input type="checkbox"/> 半壊 <input type="checkbox"/> 一部損壊 <input type="checkbox"/> 床上浸水 <input type="checkbox"/> 床下浸水 <input type="checkbox"/> その他 ()
罹災内容	
備考	

上記のとおり罹災したことを証明する。

年 月 日

岩倉市長

印

世帯構成員別被害状況

被害別 \ 世帯員構成員別	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯	6人世帯	7人世帯	8人世帯	9人世帯	10人以上世帯	計	小学生	中学生
全壊（焼）													
流失													
半壊（焼）													
床上浸水													
計													

避難場所収容台帳

避難場所

責任者 認 員	月 日	収容人員	物品使用状況		記 事	備 考
			品 名	数 量		
計						

- (注)
1. 「収容人員」欄は当日の最高収容人員数を記入し、収容人員数の増減経過は「記事」欄に記入しておくこと。
 2. 物品の使用状況は、開設期間中に使用し、品目別、使用数量を記入すること。
 3. 他市町村の住民を収容したときは、その住所、氏名及び収容期間を「備考」欄に記入すること。

避難場所用物品受払簿

品 名	単位呼称					
年 月 日	摘 要	受	払	残	備 考	
計						

- (注)
1. 「摘要」欄に、購入又は受入先及び払出し先を記入すること。
 2. 「備考」欄に、購入金額を記入しておくこと。
 3. 最終行欄に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

避難場所設置及び収容状況

避難場所 の名称	種別	開設期間	実人員	延人員	物品使用状況		実支出額	備考
					品名	数量		
		月日～月日	人	人				
計								

- (注) 1. 「種別」欄は、既存建物、野外仮設、天幕の別に記入すること。
 2. 物品の使用状況は、開設期間中に使用した品目別、使用数量を記入すること。
 3. 他市町村の住民を収容したときは、その住所、氏名及び収容期間を「備考」欄に記入すること。

炊出し給与簿

炊き出し場 の名称	月 日			月 日			3日間小計			4日以降小計			合計	実支出額	給食内容
	朝	昼	夜	朝	昼	夜	朝	昼	夜	朝	昼	夜			

炊出しその他による食品給与物品受払簿

品名	単位呼称					
年月日	摘要	受	払	残	備考	
計						

- (注) 1. 「摘要」欄に、購入又は受入先及び払出し先を記入すること。
 2. 「備考」欄に、購入単価及び購入金額を記入しておくこと。
 3. 最終行欄に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

炊出し用物品借用簿

品名	数量	期間	金額	所有者(管理者)氏名	使用避難場所の名称	備考
			円			
計						

- (注) 「期間」欄は「〇月〇日から〇月〇日まで〇日間」と記入すること。

飲料水供給簿

供年月日	供地区	対象人員	給水用機械器具		金額	備考
			名称	数量		
			所有者(管理者)氏名			
計						

- (注) 1. 「対象人員」欄の人員数は、現数で記入して差し支えないこと。
 2. 給水用機械器具は借上費の有無償の別を問わず記入するものとし、有償による場合のみ「金額」欄に借上額を記入すること。

水道施設被害速報												
災害の原因	発生時刻	発生者	発生者	種別	水道		計	施設名	被害の程度	応急対策	復旧見込	被害額
					上水道	簡易水道						
発生機関	発生時刻	発生者	発生者	種別	()	()	()					千円
受信機関				区分	箇所数	被害額						千円
全般的被害状況												千円
重大な被害の状況												千円

(注) 全般的被害状況の箇所数欄の()には、被害額が判明している箇所数を掲げる。

給水用機械器具、燃料及び浄水用薬品資材受払簿

品名	単位呼称					
年月日	摘要	受	払	残	備考	
計						

- (注) 1. 「摘要」欄に、購入先又は受入先及び払出し先を記入すること。
 2. 「備考」欄に、購入単価及び購入金額を記入しておくこと。
 3. 最終行欄に、受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

給水用機械器具修繕簿

給水用機械器具の名称	所有者(管理者)氏名	故障年月日	故障の概要	修繕年月日	修繕費 円	備考
計						

- (注) 「故障の概要」欄には、故障の原因及び主な故障箇所を記入すること。

病院診療所医療実施状況

診療機関名	患者氏名	診療期間 月 日	病 名	診 療 区 分		診療報酬点数		金 額 円	備 考
				入 院 人	通 院 人	入 院 点	通 院 点		
計	機関	人							

助 産 台 帳

分 べ ん 者			分 べ ん の 日 時 場 所	助 産 機 関 名	期 間	金 額 円	備 考
住 所	氏 名	年 令					
計	人			機関			

救護班診療記録

市 救護班
医師

㊦

年月日	町名	患者氏名	年齢	病名	措置概要	備考
計			人			

(注) 「備考」欄に、班の編成、活動期間を記入すること。

救護班医薬品衛生材料使用簿

市 救護班
医師

㊦

医薬品衛生材料品名	単位呼称	単価	摘要	受	払	残	備考
		円					
計							

- (注) 1. 本簿は、救護業務従事期間中における品目ごとの使用状況を明らかにするものである。
 2. 「摘要」欄に、受入先を記入すること。
 3. 「備考」欄に、払高数量（使用数量）に対する金額を記入しておくこと。

医薬品衛生材料受払簿

品名	単位呼称					
年月日	摘要	受	払	残	備考	
計						

- (注) 1. 「摘要」欄に、購入先又は受入先及び払出し先を記入すること。
 2. 「備考」欄に、購入単価及び購入金額を記入しておくこと。
 3. 最終行欄に、受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

救護班の編成及び活動記録

期間	医療班名	診療患者数	死体検案数	班の編成	班長職氏名	備考
計						

- (注) 1. 「診療患者数」欄は延人員数を記入すること。
 2. 「班の編成」欄は、職種ごとの人員数を記入すること。

決定通知書

住所氏名

年月日付をもって申請のあった応急仮設住宅入居については、次のとおり決定したので通知します。

年月日

岩倉市長

印

記

1 申請については許可（却下）します。

却下の理由

2 市との間に応急仮設住宅入居契約を直ちに行ってください。

(本状及び印カン持参の上消防本部までおいで下さい。)

条件

1 応急仮設住宅入居の期間は入居の日から2年間以内であること。

従ってその間に他に住居を移すよう努力すること。

2 この住宅は他の者に絶対貸さないこと。

3 この住宅を返還するときは入居のときと同じ状態にしておくこと。

応急仮設住宅入居申請書

による災害のため住家を滅失したので応急仮設住宅の入居を申請

します。

年月日

住所氏名
町番地
印

岩倉市長

殿

記

添付書類

- 1 被災証明書
- 2 建設予定地の有無（見取図添付）

以下は記入しないください。

許可の可否	入居させる住宅	世帯人員	その他特記事項

却下の理由

市 応 急 仮 設 住 宅 入 居 契 約 書

応急仮設住宅の入居につき貸渡人 市長 を甲とし、借受人
を乙として甲乙当事者間に次の契約を締結する。

第1条 甲は、乙が住宅に使用する目的をもって次に記載した建物を第2条以下の条件を附して乙に貸渡し、又はこれを借受けるものとする。

所在地 市 町 番地
応急仮設住宅 号
木造トタン葺平家建 建築面積 平方メートル

第2条 貸付期間は 年 月 日から 年 月 日までとする。ただし、期間満了したときは市の指示にもとづくものとする。

第3条 貸付料は、第2条の期間内は無償貸付とする。

第4条 住宅の維持管理についてはすべて乙の負担とする。

第5条 乙は次の行為をしてはならない。

- (1) 住宅を他人に貸与し又はその使用权を譲渡すること。ただし、相続により継承する場合はこの限りでない。
- (2) 住宅を破損又は汚損するような業務を営むこと。
- (3) 甲の承認を受けないで乙以外の者を同居させること。
- (4) 甲の承認を受けないで建築物の模様替をすること。

第6条 乙が住宅の使用を廃止しようとするときは5日前までにその期日及び事由を具し甲に届け出なければならない。

2 前項の場合において滅失又は破損したものがあるときは、乙は退去前にこれを原形に復し又はその費用を弁償するものとする。

以上のとおり契約し本証書2通を作成し各その1通を保管するものとする。

年 月 日

甲 貸渡人

市長 ⑩

乙 借受人 市 町 番地
氏 名 ⑩

保証人 ⑩

⑩

被災者救出状況記録簿

年月日	救出地区	救出人員	救出用機械器具			金額	備考
			名称	数量	所有者(管理者)氏名		
		人				円	
計							

(注) 救出用機械器具は、借上費の有無の別を問わず記入するものとし、有償による場合のみ、その借上費を「金額」欄に記入すること。

被災者救出用機械器具燃料受払簿

品名	単位呼称					
年月日	摘要	受	払	残	備考	
	計					

- (注) 1. 「摘要」欄に、購入先又は受入先及び払出し先を記入すること。
 2. 「備考」欄に、購入単価及び購入金額を記入しておくこと。
 3. 最終行欄に、受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

被災者救出用機械器具修繕簿

機械器具の 名称	所有者（管理者） 氏名	故障 年月日	故障の 概要	修繕 年月日	修繕費 円	備 考
計						

（注） 「故障の概要」欄は、故障の原因及び主な故障箇所を記入すること。

死体捜索状況記録簿

年月日	捜索 地区	捜索 死体 体	捜 索 用 機 械 器 具			金 額 円	備 考
			名 称	数 量	所有者（管理者）氏名		
計							

- （注） 1. 他市町村におよんだ場合は、備考欄にその市町村名を記入すること。
 2. 捜索用機械器具は、借上費の有無の別を問わず記入するものとし、有償による場合のみ、その借上費を金額欄に記入すること。

死体捜索用機械、器具、燃料受払簿

品名	単位呼称				
年月日	摘要	受	払	残	備考
計					

- (注) 1. 「摘要」欄に、購入先又は受入先及び払出し先を記入すること。
 2. 「備考」欄に、購入単価及び購入金額を記入しておくこと。
 3. 最終行欄に、受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

死体処理台帳

処理年月日	死体発見の日及び場所	死亡者名氏	遺族		洗浄等の処理			死の一時保存	検索料	実支出願	備考
			氏名	死亡者との関係	品名	数量	金額				
							円				
計		人									

埋 葬 台 帳

死 亡 日 年 月 日	埋 葬 日 年 月 日	死 亡 者		埋 葬 を 行 っ た 者		埋 葬 費				備 考
		氏 名	年 令	死 亡 者 と の 関 係	氏 名	棺 (付 属 品 を 含 む)	埋 葬 又 は 火 葬 料	骨 箱	計	
						円	円	円	円	
計	/	人	/	/	/					

- (注) 1. 埋葬を行った者が市長であるときは、遺族の氏名を「備考」欄に記入すること。
 2. 市長が棺、骨箱等を現物で給与したときは、その旨「備考」欄に明らかにすること。
 3. 埋葬を行った者に埋葬費を支給したときは、その旨及び金額を「備考」欄に記入すること。

障 害 物 除 去 の 状 況

住 家 被 害 区 分	氏 名	除 去 に 要 し た 間 隔	実 支 出 額	除 去 に 要 す べ き 状 態 の 概 要	備 考
		月 日 ~ 月 日	円		
計	半 壊 (焼)	世 帯	/		
	床 上 浸 水	世 帯			

臨時雇用人夫勤務状況

住 所	氏 名	年 令	単 価	月 分				基本賃金		割増賃金		計	備 考
				日	日	日	日	日数	金額	時間	金額		
				日	日	日	日						
		才	円								円		
計	人												

上記のとおり勤務したことを証明する。

年 月 日

市 課長等名

印

- (注) 1. 救助種目ごとに別冊又は別頁とすること。
 2. 時間外勤務に従事させた場合はその時間数を「日別」欄に記入しておくこと。

奉仕団等受入れ記録簿

月 日	団 体 名	代 表 者 名	人 員	依 頼 し た 業 務	期 間
			人		月 日 ~ 月 日

輸 送 記 録 簿

年 月 日	目 的	輸 送 区 間		使用車両船舶等		輸 送 者 担 当 者	金 額	備 考
		区 間	距 離	種 類	台 数			
					台		円	
計								

- (注) 1. 必要に応じ都道府県又は市町村の車両等による場合とその他の場合に区分し別頁として差し支えないこと。
 2. 「目的」欄は、主たる目的（又は救助の種類名）を記入すること。
 3. 都道府県又は市町村の車両等による場合は「輸送担当者」欄に車両番号を記入すること。
 4. 借上車両等による場合は有無償の別を問わず記入すること。
 「金額」欄は、運送費又は車両等の借上費を記入すること。

燃 料 及 び 消 耗 品 受 払 簿

品 名	単 位 呼 称					
年 月 日	摘 要	受	払	残	備 考	
計						

- (注) 1. 必要に応じ都道府県又は他の市町村有の車両等に対する分とその他の車両等に対する分と別冊又は別頁として差し支えないこと。
 2. 「摘要」欄に、購入先又は受入先及び払出し先を記入すること。
 3. 「備考」欄に、購入単価及び購入金額を記入しておくこと。
 4. 最終行欄に、受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

学用品購入（配分）計画表

品名	単価	小 学 校						中 学 校						合 計		備 考
		全 壊 流 失 分			半壊床上浸水分			全 壊 流 失 分			半壊床上浸水分			数 量	金 額	
		児 童 数	数 量	金 額	児 童 数	数 量	金 額	生 徒 数	数 量	金 額	生 徒 数	数 量	金 額			
	円	人		円	人		円	人		円	人		円		円	
計																

- (注) 1. 本表は、学用品のうち、文房具及び通学用品のみとし、教科書（教材を含む。）については別途適宜作成するものであること。
 2. 都道府県調達分があるときは、その旨を各品目ごとの「備考」欄に明らかにしておくこと。

学用品の給与状況

学 校 名	学 年	児 童 (生徒) 氏 名	親 権 者 氏 名	給 与 月 日	給 与 品 の 内 訳				実 支 願 出 額	備 考
					教 科 書		そ の 他 学 用 品			
					国 語	算 数	鉛 筆	ノ ー ト		
				月 日					円	
計	小 学 校	人							円	
	中 学 校	人							円	

学用品を上記のとおり給与したことに相違なし

年 月 日

給与責任者（学校長）

氏 名

㊟

- (注) 1. 「給与月日」欄は、その児童（生徒）に付して最後に給与した給与月日を記入すること。
 2. 「給与品の内訳」欄には、数量を記入すること。

		発 簡 番 号
		年 月 日
災害派遣命令者 殿		
岩 倉 市 長		
部隊等の派遣要請依頼書		
災害を防除するため、下記のとおり自衛隊の災害派遣要請を依頼します。		
記		
1	災害の情况及び派遣を要請する事由 災害の状況（特に災害派遣を必要とする区域の状況を明らかにする。） 派遣を要請する事由	
2	派遣を希望する期間	
3	派遣を希望する区域及び活動内容 (1)区域 (2)活動内容（遭難者の捜索援助、道路啓開、水防、輸送、防疫等）	
4	その他参考となるべき事項 その他の細部については、	において調整する。

(注)2項に関しては具体的な表現することが不可能な場合には、「救援活動終了するまでの間」等の定性的な表現

		発 簡 番 号
		年 月 日
災害派遣命令者 殿		
岩 倉 市 長		
災害派遣部隊撤収要請依頼書		
災害派遣を要請中のところ、派遣目的が達成されたことに伴い、		月 日
をもって派遣部隊等を撤収要請されるよう依頼します。		

《避難・地震防災応急対策の実施状況報告》

速報用

送信者		受信者		送受信時間
機関名	氏名	機関名	氏名	
				月 日 時 分
				月 日 時 分

緊急応急対策等	実施状況等 (該当する番号に○をつけること)
①東海地震予知情報の伝達	1 完了 2 半数以上 3 半数未満
②地域住民の避難状況	1 必要なし 2 必要あり (ア 完了 イ 実施中 ウ 未実施)
③消防・浸水対策活動	1 必要なし 2 必要あり (ア 完了 イ 実施中 ウ 未実施)
④応急の救護を要すると認められる者の救護、保護	1 必要なし 2 必要あり (ア 完了 イ 実施中 ウ 未実施)
⑤施設・設備の整備及び点検	1 必要なし 2 必要あり (ア 完了 イ 実施中 ウ 未実施)
⑥犯罪の防止、交通の規制、その他社会秩序の維持	1 必要なし 2 必要あり (ア 完了 イ 実施中 ウ 未実施)
⑦食糧、生活必需品、医薬品等の確保	1 必要なし 2 必要あり (ア 完了 イ 実施中 ウ 未実施)
⑧緊急輸送の確保	1 必要なし 2 必要あり (ア 完了 イ 実施中 ウ 未実施)
⑨災害対策本部の設置	1 設置 2 準備中 3 未設置
⑩対策要員の確保	1 完了 2 半数以上 3 半数未満
備考	

《避難・地震防災応急対策の実施状況報告》

送信者		受信者		送受信時間
機関名	氏名	機関名	氏名	
				月 日 時 分
				月 日 時 分

避 難 状 況	① 避難の経過	危険事態、異常事態の発生状況			
		措置事項			
避 難 の 完 了	② 避難	避難場所名	避難人数・ 要救護人数	救護、保護に必要な措置等	
地 震 防 災 応 急 対 策	③	東海地震予知情報の伝達、避難勧告・指示			
	④	消防、水防その他応急措置			
	⑤	応急救護を要すると認められる者の救護、保護			
	⑥	施設・設備の整備及び点検			
	⑦	犯罪の予防、交通の規制、その他社会秩序の維持			
	⑧	緊急輸送の確保			
	⑨	食料・医薬品等の確保、清掃・防疫の体制整備			
	⑩	その他災害の発生防止・軽減を図るための措置			
		備 考			

様式第51

年 月 日	
緊急通行車両等確認申請書	
愛知県公安委員会 殿	
申請者 住 所 (電話) 氏 名 印	
番号標に表示されている番号	
車両の用途（緊急輸送を行う車両にあっては、輸送人員又は品名）	
使用者	住 所 (電話) () 局 番 氏 名
通行日時	
通行経路	出 発 地
	目 的 地
備 考	

注 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

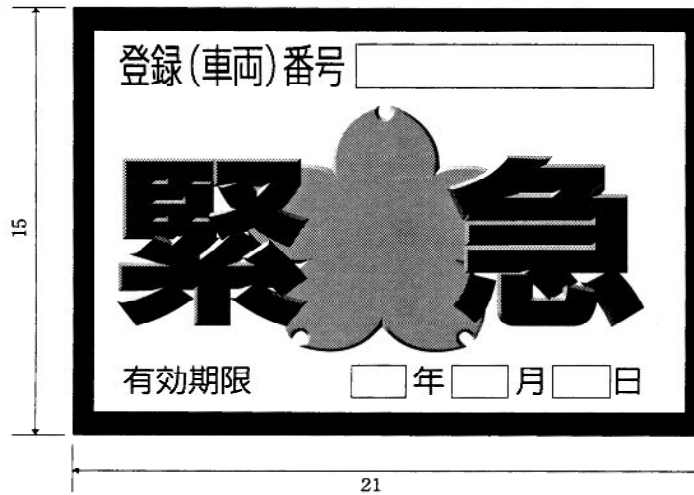
様式第52

第 号		年 月 日
緊急輸送車両確認証明書		知 事 印 公安委員会 印
番号標に表示されている番号		
輸送人員又は品名		
使用者	住 所 () 局 番	
	氏 名	
通行日時		
通行経路	出 発 地	目 的 地
備 考		

注 用紙は、日本工業規格A5とする。

様式第53

緊急通行車両の標章



- 備考 1 色彩は、記号を黄色、縁及び「緊急」の文字を赤色、「登録(車両)番号」、「有効期限」、「年」、「月」、及び「日」の文字を黒色、登録(車両)番号並びに年、月及び日を表示する部分を白色、地を銀色とする。
 2 記号の部分に、表面の画像が光の反射角度に応じて変化する措置を施すものとする。
 3 図示の長さの単位は、センチメートルとする。

ボランティア等受入れ記録簿

月 日	団 体 名	代 表 者 名	人 員	依 頼 し た 業 務	期 間

一 時 避 難 者 名 簿

No. _____

施 設 名					保 護 し た 年 月 日	年 月 日	
整 理 番 号	氏 名	生 年 月 日	性 別	住 所	職 業 又 は 勤 務 先 等	備 考	
1		年 月 日	男 女			時 分	避 難 所 難 宅 社
2		年 月 日	男 女			時 分	避 難 所 難 宅 社
3		年 月 日	男 女			時 分	避 難 所 難 宅 社
4		年 月 日	男 女			時 分	避 難 所 難 宅 社
5		年 月 日	男 女			時 分	避 難 所 難 宅 社
6		年 月 日	男 女			時 分	避 難 所 難 宅 社
7		年 月 日	男 女			時 分	避 難 所 難 宅 社
8		年 月 日	男 女			時 分	避 難 所 難 宅 社
9		年 月 日	男 女			時 分	避 難 所 難 宅 社
10		年 月 日	男 女			時 分	避 難 所 難 宅 社

※この名簿は、災害対策本部の指示があるまで各施設で保管すること。

